

「この街」のために。「あなた」のために。

そうこう®

S O U K O U

2016年2月号(月10) 発行：社会医療法人 壮幸会 行田総合病院



VOL 016

咳が止まらない原因は？

竹内医師 & 呼吸器内科看護師

行田総合病院の内科

NEWS&TOPICS

2月

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111

内科

The Internal Department

大人が患う病気。
そのほとんどは、
最初に内科で診察します。
専門科に分かれている
当院の内科診療科を
紹介しましょう。

一般内科◆内科疾患全般を扱っています。

不整脈や狭心症、心筋梗塞をはじめ、高血圧や糖尿病などの生活習慣病を広く診療しています。『どの診療科で診てもらおうか?』と迷った時には、一般内科の医師に症状や気になる事をご相談ください。最初に一般内科で診察を受けて、より専門的な診断や治療が必要となった場合には、この後ご紹介する専門科へコンサルトします。当院では、専門科目を持つ内科医師が一般内科の診療も行っています。まずは、医事課受付にてご相談ください。



カテーテル治療中の循環器内科医長・那須医師。

循環器内科◆心臓病や血管の病気を診療します。

虚血性心疾患（冠動脈疾患：心筋梗塞や狭心症など）・弁膜疾患・心不全・不整脈（ペースメーカー治療）などの心臓疾患、閉塞性動脈硬化症や静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症や肺塞栓症）などの血管疾患を診療対象疾患としています。近年は高齢化に伴い心血管疾患の増加傾向がみられます。また心血管疾患は短期間に病状が悪化することが多く、治療が遅れると後遺症が残ったり入院期間が長くなる傾向があります。このため、当院では受診当日に心電図・心臓超音波検査を行う体制を整えており、また必要があれば受診日に320列CTやカテーテル検査まで行っています。なお、カテーテル検査・治療の場合は主に2泊3日入院で対応しています。



気管支鏡で検査を行う呼吸器内科部長・竹内医師。

呼吸器内科◆気管・気管支・肺を中心に担当します。（前ページの記事もご参照ください）

気管、気管支、肺を中心に診療を行います。病名は市中肺炎や誤嚥性肺炎などの呼吸器感染症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺がん、間質性肺炎など、身近でしかも重症化しやすい呼吸器疾患の診断・治療を行っています。行田市および近隣地域には呼吸器疾患を受け入れることができる病院が少ないため、紹介を受けて入院となる患者さまも多くいらっしゃいます。また、睡眠時無呼吸症候群の検査・治療にも力を注いでいます。放っておくと脳血管障害や心疾患、高血圧などにかかりやすく、日中の眠気から思わぬ事故の原因にもなる病気です。しかし、その検査方法・治療方法は確立されており、正しい治療を受ければ問題なく日常生活を送ることができます。「睡眠時無呼吸外来」を開設しており、専門の臨床工学技士がサポートするCPAPを用いた治療を行っています。



年に1度の内視鏡検査をおすすめしています。

消化器内科◆消化器とは？食べ物の通り道と肝臓・膵臓を含めた部分です。

具体的な病名には、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、肝炎、肝硬変、膵炎、潰瘍性大腸炎などがあります。現役世代の男性がかかりやすい病気を扱っているため、内科の中でもこの診療科のお世話になる人は多いかもしれません。また、胃や腸といった消化管の内視鏡検査を希望する場合も消化器内科にご相談ください。日本人における死因第1位は、癌といわれています。早期癌を発見するために年に1度の内視鏡検査をおすすめしています。当院での内視鏡検査は、できるだけ苦痛を軽減させるようにしています。それでもご不安の強い方には適度な麻酔薬の使用（眠った状態での検査）も可能です。また、経鼻内視鏡もご用意しています。早期発見ができれば、お腹を切らずに内視鏡での治療が可能な場合があります。入院日数も1週間前後で対応しています。

糖尿病は食事・運動・薬物療法が大切な疾患です。当院では、個人栄養指導、科学的な運動療法指導、適切な薬剤・生活指導を行い、充実した体制にて糖尿病コントロールを目指しています。また、腎臓内科や眼科と協力し、腎症や網膜症等の合併症早期診断・予防・治療にも力を注いでいますし、外科系診療科と連携して、手術前後の管理を実施しています。看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、臨床検査技師が、それぞれ専門の立場から糖尿病の病態、合併症、治療方法、日常生活の注意点などを分かりやすく説明しています。その他に甲状腺機能低下症や亢進症などの内分泌疾患（甲状腺疾患）の診療も積極的に行っています。



糖尿病内科 / 内科副部長・吉田医師。

腎臓内科◆慢性腎不全やネフローゼ症候群などを診ています。

近年、生活習慣病から糖尿病、そして糖尿病がもたらす慢性腎不全になる患者さまが増えています。そのため、糖尿病の担当科である内分泌代謝内科、栄養科と連携し、治療にあたることも少なくありません。慢性腎不全ともなると、人工透析が必要になることもあります。透析センター関連の管理も腎臓内科が担当しています。膠原病に関しては、全身疾患です。腎臓障害を起こすケースもあり、腎臓内科が担当することもあります。具体的には全身性エリテマトーデス、関節リウマチなどがあります。皮膚科・整形外科など、他科との連携も多くなります。このように単に腎臓だけを診ているだけでなく、それに絡んだ様々な診療を行っています。2016年1月に常勤医師が入職したことによって、さらに充実した診療体制が整ったことをお知らせいたします。（▶P6）



透析センターで人工透析を行うME。

そのほかに当院で診療できる内科の専門領域

神経内科：中枢神経、末梢神経といった神経系の病気を診察しています。

リウマチ膠原病内科：関節リウマチや全身性エリテマトーデスなどのリウマチ膠原病疾患全般の診療を行っています。

血液内科：血管の中を流れる血液細胞の異常、その血液細胞を作る骨髄の異常、リンパ節の異常、出血を止める働き（止血）の異常等を診ています。

竹内広史

HIROSHI TAKEUCHI

医師
内科部長・呼吸器内科部長

咳が止まらない原因は？ 風邪の咳じゃないかも。

長引く咳。「単なる風邪かと思っていたら、1カ月以上続いていた・・・」
という方も多いのではないのでしょうか？
その咳の裏に病気が隠されている
かもしれません。

咳の続く期間や痰を伴っているか否か
によって咳の原因も大きく変わって
きます。3週間未満であれば、多くは
感冒、気管支炎などの呼吸器感染症が
考えられます。3週間以上続く咳の場
合には、肺結核や非結核性抗酸菌症な
どの感染症に加えて、胃食道逆流症、
副鼻腔炎と後鼻漏、肺がん、慢性閉塞
性肺疾患、間質性肺炎などの非感染性
疾患が考えられます。

当院に長引く咳で来院された患者さ
んには、最初に詳しく咳の出る経緯を
問診させていただきます。次に胸部レ
ントゲンを撮影して咳の原因となる異
常がないか画像を用いて調べさせてい
たできます。更に感染症が否定的であ

れば呼吸機能検査を行います。必要に
応じて痰の好酸球塗抹検査、呼気一酸
化窒素濃度測定などの咳を調べる特殊
な検査も実施いたします。これらは好
酸球による気道の炎症を調べる検査で
す。なぜこのような検査をするかとい
いますと、今、外来を受診する咳の
患者さんで最も多いのが咳喘息だから
です。咳喘息とは喘息の一種でありな
がら、喘息では典型的な「ゼーゼー」、
「ヒューヒュー」という異常な呼吸音を
認めず、空咳のみが長引くタイプの喘

息のことをいいます。

風邪の後に咳だけがいつまでも残る。
季節の変わり目になると空咳が続く。
夜間や早朝など特定時間に咳が続く。

このような場合には、咳喘息が疑
われます。しかし、この咳喘息は
胸部レントゲンやCTを撮影して
も咳の原因となる異常が見つからない、
呼吸機能検査を実施しても典型的な喘
息にみられるような異常を認めず診断
が難しいのです。
詳細な問診から咳喘息を思わせる症

状が続いており、喀痰の好酸球や呼気
一酸化窒素濃度測定を追加することで
好酸球による気道の炎症が判明し、吸
入ステロイドなど喘息の治療を行って
改善を認めてはじめて診断がつく場合
も多いのです。風邪と思いつく咳や咳
止めを飲むものの咳が良くならない
方、毎年秋から冬にかけて空咳が続く
方は咳喘息かもしれません。
ぜひ一度当院の呼吸器科外来を受診
してみてください。

渋谷祐介

YUSUKE SHIBUYA

看護師
呼吸器内科病棟副主任

優しさと熱意を持って 新たなステージへ！

南棟4階は、呼吸器疾患を中心とし
た患者さまが入院される病棟です。息
苦しさを訴える患者さまが多く、常
にお身体の状態をきめ細やかに観察す
ることが重要なファクターとなります。
患者さまとご家族にとって心強い存在
であることが求められる看護師。お一
人ずつの生活背景を心に留め、人柄を
考慮して接しています。どんな状況に
おいても『早く元気になってほしい』
と考えながら日々の看護に努めます。

竹内先生の指導の下、定期的に勉強
会も開催しています。「息苦しい」「咳
が止まらない」などの症状が出現した
時、「普段とは違う」異変に迅速に対
応するために、病棟のスタッフ全員で
知識や技術を修得しています。

私的なお話をさせていただくと、災
害時対応の専門的な訓練を受け、行田
総合病院のDMAT（※災害派遣医
療チーム）に入隊しました。熱意を持っ
て新しい挑戦に取り組みます！



NEWS & TOPICS

2015.11-2016.1

第16回 救急勉強会 当院会議室



2015年11月24日(火)

講師：脳神経外科・本間先生

2015年最後となる救急勉強会。本間先生による『当院で対応できる脳外科領域の疾患』と題した講演が行われました。多数の救急隊の皆さまにご参加いただきました。2016年も有意義な勉強会を企画してまいります。

THEインフルエンザ予防対策 当院会議室



2015年12月14日(月)

感染防止対策全職員対象勉強会

11月から全4回に渡って開催された勉強会では、内科部長兼呼吸器内科部長・竹内先生(P2)をはじめ、感染対策チーム(ICT)4職種(4人)による講義が行われました。

糖尿病合併症を考える会 キングアンバサダーホテル熊谷



2015年11月20日(金)

行田市医師会長・根本先生

と当院川嶋理事長が座長を務め、栗原眼科病院副院長・鈴木先生による『眼科医から診た糖尿病』、熊谷ディアベティクリニック院長・石丸先生による『合併症予防に向けた糖尿病治療UP DATE』の2講演が行われました。

在宅緩和ケア事例検討会 当院会議室



2015年12月9日(水)

在宅医療・緩和ケア病棟

の相互理解を深めるために開催されました。当院緩和ケア内科副部長・黒澤先生監修の下、在宅緩和ケア症例報告、グループワーク、内容発表、質疑応答などが行われ、有意義な検討会となりました。

県北感染対策講演会 ホテルガーデンパレス熊谷



2015年11月17日(火)

座長：川嶋理事長

当院川嶋理事長が座長を務め、『慢性呼吸器疾患における感染予防対策』と題した講演を独協医科大学越谷病院呼吸器・アレルギー内科教授 杉山先生が行いました。当院の感染管理者をはじめ数多くの医療関係者が参加されました。

脳卒中医療連携の会 骨粗・大腿骨頸部骨折研究会 深谷赤十字病院 多目的ホール



2015年11月6日(金)

リハビリ・セラピストによる施設発表 磯部クリニック院長・金子先生が座長を務め、『地域における当院の役割と回復期リハビリテーション病棟の取組』と題した発表をリハビリテーション科・鈴木主任が行いました。

COLUMN

ドクターやナース、コメディカルの日常、大げさにいえば人生観まで。
好評につき、毎号連載中！

地域の皆さまへ



腎臓内科医長
佐藤貴彦

2016年1月より当院腎臓内科に入職された佐藤先生。常勤医師2名となり、より充実した診療体制になりました。

私は埼玉医科大学腎臓内科へ入局後、大学病院等で研鑽を積み、total nephrology(検尿異常から透析導入後までのすべての期間において、病気だけを診療するのではなく、その患者さんに起こる他の疾患、社会背景や生活環境などをきちんと踏まえたうえで、最適なフォローをすること)を実践して参りました。

近年新たな国民病とも言われている慢性腎臓病における末期腎不全への進行抑制や心血管疾患の発症予防はもちろんのこと、糖尿病や膠原病、血液疾患など多くの疾患に腎病変が合併しやすい点から、腎臓を中心とした総合内科的診療を提供できるように努力する所存であります。

また、病診連携を積極的に行い、地域の患者さまの健康を守るため微力ながら全力で取り組みたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

PROFILE

埼玉医科大学 平成13年卒
2001年 埼玉医科大学病院 内科ローテーション
2003年 埼玉医科大学病院 腎臓内科助手
2006年 太田西ノ内病院 腎臓内科
2008年 埼玉医科大学病院 腎臓内科 助教
2011年 埼玉石心会病院 医長
2012年 上尾中央総合病院 医長

■専門医・認定医

日本内科学会認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本腎臓学会腎臓専門医・指導医
日本透析医学会透析専門医
日本アフェリシス学会血漿交換療法専門医
日本急性血液浄化学会認定指導医
日本高血圧学会専門医

■佐藤医師 外来担当表

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|---|---|---|---|---|
| 午前 | | | | ○ | ○ |
| 午後 | ○ | | | | |

ADVERTISING

院内・院外からの広告を受付けております。

●検査科からのお知らせ

軽度認知症の血液検査『MCI スクリーニング検査』を始めました。

アルツハイマー型認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）の兆候を早期発見する検査です。軽度認知障害（MCI）とは、健常者と認知症の中間段階を指します。日常生活に支障はありませんが、そのまま経過すると約5年で半数以上が認知症に進行するといわれています。

▶こんな方におすすめします！

- 50歳以上の方 ... 認知症が不安。
- 最近、もの忘れが増えてきた ...
- 親や家族の様子が少し変わった気がする ...
- 肥満や糖尿病など生活習慣病の恐れがある ...

※検査は当院にて採血のみです。医事課にお申込みください。検査料金 20,000 円（税別）。

※詳しくは院内に置いてあるパンフレットをご参照ください。[株式会社 保健科学東日本]

●地域医療連携室からのお知らせ

持っていて安心！『とねっと』をご存知ですか？



『とねっと』は、埼玉県利根医療圏医療推進協議会が管理・運営を行う医療機関間で診療情報を共有化する地域医療ネットワークシステムです。地域の皆さまが登録することによって、医療情報の共有、緊急時への対応、健康管理への活用にご利用できます。

●お申込みは簡単（無料）

参加同意書に必要事項を記入し、医事課窓口へご提出ください。

※詳しくは地域医療連携室まで。[埼玉県利根医療圏医療推進協議会]

●社会福祉法人社幸会からのお知らせ

特別養護老人ホーム『雅』では、オープニングスタッフを募集しています！

2016年4月 新規開設

全室個室のユニットケア・安心の導入教育をご用意しています。新しい環境で、新しい仲間とスタートしてみませんか？

オープニングスタッフ大募集!!

正 ① 介護福祉士

月給 21万円～ ※夜勤5回含み・シフト制

未経験者歓迎 (新卒可)

正 ② 介護スタッフ

月給 20万円～ ※夜勤5回含み・シフト制

時給 950円～ (勤務時間・曜日考慮します)

未経験者歓迎 (新卒・無資格可)

同時募集 ケアマネジャー・生活相談員・看護職員・管理栄養士 月給20万円～ (資格により異なります) 経験者歓迎

応募方法

電話またはメールにてご応募ください。 ※随時面接をしております。

TEL: 048-552-1226 (土日も受付OK)

E-Mail: recruit@s-miyabi.or.jp

<http://s-miyabi.or.jp> ★ホームページで施設の詳細や募集要項をご覧ください。 **特養 雅**